

レポートが保存されない設定の方法

目次

1. 新規課題作成時の設定
2. 既存課題の設定変更
3. レポート提出先設定についての注意点

1. 新規課題作成時の設定

1

講師ホームページで該当する「クラス名」を選択します。

Japan

クラスID	クラス名	状態	統計	編集
14873186	Toshi test	有効		
15551164	閲覧テスト	有効		
15566309	類似性レポート閲覧	有効		

2

クラスホームページで右側の「課題追加」を選択します。

※この画面は、ブラウザの表示領域が狭い場合にのみ表示されます。

Toshi test

クラスホームページ | QUICKMARK BREAKDOWN

+ 課題追加

	開始日	提出期限日	提示日	状態	アクション
Test assignment					
レポート	2017年03月03日 11:59AM	2017年09月01日 12:59AM	2017年03月11日 1:00AM	8 / 3 提出状況	閲覧 他のアクション ▼

3

「レポート課題」を選択し「次のステップ」をクリックします。

課題タイプを選択してください

レポート課題

PeerMark課題

改訂課題

反映課題

レポート課題

レポート課題 - レポート課題タイプは全ての課題タイプの基本課題です (PeerMark課題、改訂課題、反映課題)。


レポート課題が作成されたら、講師は、開始日、提出期限日、提示日の3つの日付を設定する必要があります。


次のステップ

4

「オプション設定」を選択します。


新規課題


課題名 


点数 

オプション


Turnitin がオリジナリティーをチェックできるファイルタイプのみを許可する

全てのファイルタイプを許可する 

開始日 


2017年07月14日 


に 15 ▼ : 26 ▼

提出期限日 


2017年07月21日 

に 23 ▼ : 59 ▼

提示日 

2017年07月22日 

に 0 ▼ : 00 ▼

 オプション設定

提出

5

スクロールダウンし、「レポート提出先」のドロップダウンメニューより「リポジトリ無し」を選択します。

はい
 いいえ

受講生にオリジナリティーレポートの閲覧を許可しますか？ [?](#)

はい
 いいえ

レポート提出先： [?](#)

- リポジトリ無し
- 標準レポートリポジトリ
- 機関レポートリポジトリ
- 受講生リポジトリの選択
- リポジトリ無し

現在とアーカイブされたインターネット
 刊行物、ジャーナル、& 出版物

GradeMark

ループリック/フォームをこの課題に添付する [?](#)

注意：受講生は提出前に、添付されたループリック/フォームおよびその内容を見ることができません。

ループリック/フォームがありません ▼ ループリック/フォームマネージャーを起動させる

Turnitin教育ツール内で、あなたの課題に適切なループリックを見つける（英語のみ）

ETS® e-rater® 設定

6

最後に画面一番下にある「提出」を選択します。



提出

2. 既存課題の設定変更

1

講師ホームページで該当する「クラス名」を選択します。

Japan

クラスID	クラス名	状態	統計	編集
14873186	Toshi test	有効		
15551164	閲覧テスト	有効		
15566309	類似性レポート閲覧	有効		

2

変更を加える課題右側「他のアクション」のドロップダウンメニューより「課題追加」を選択します。

Toshi test + 課題追加

クラスホームページ | QUICKMARK BREAKDOWN


	開始日	提出期限日	提示日	状態	アクション
Test assignment					
レポート	2017年03月03日 11:59AM	2017年09月01日 12:59AM	2017年03月11日 1:00AM	8 / 3 提出状況	閲覧 他のアクション ▾ 設定の編集 提出 課題の削除
iGroup Test					
レポート	2017年03月22日 8:16PM	2017年05月01日 11:59PM	2017年03月30日 12:00AM	3 / 3 提出状況	閲覧 他の

4

「オプション設定」を選択します。

新規課題


課題名 


点数 

オプション

Turnitin がオリジナリティーをチェックできるファイルタイプのみを許可する


全てのファイルタイプを許可する 

開始日 


2017年07月14日 


に 15 ▼ : 26 ▼

提出期限日 


2017年07月21日 

に 23 ▼ : 59 ▼

提示日 

2017年07月22日 

に 0 ▼ : 00 ▼

 オプション設定

提出

5

スクロールダウンし、「レポート提出先」のドロップダウンメニューより「リポジトリ無し」を選択します。

The screenshot shows a web form with several sections. At the top, there are radio buttons for 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No). Below that is a question: '受講生にオリジナリティーレポートの閲覧を許可しますか?' (Do you allow students to view originality reports?). This is followed by another set of radio buttons for 'はい' and 'いいえ'. The main focus is on the 'レポート提出先:' (Report Submission Destination) dropdown menu, which is highlighted with a red box. The dropdown is open, showing options: 'リポジトリ無し' (No Repository), '標準レポートリポジトリ' (Standard Report Repository), '機関レポートリポジトリ' (Institution Report Repository), '受講生リポジトリの選択' (Select Student Repository), and 'リポジトリ無し' (No Repository). The 'リポジトリ無し' option at the bottom is highlighted in blue. Below the dropdown are two checked checkboxes: '現在とアーカイブされたインターネット' (Current and Archived Internet) and '刊行物、ジャーナル、& 出版物' (Publications, Journals, & Publications). The 'GradeMark' section follows, with a heading 'ループリック/フォームをこの課題に添付する' (Attach Rubric/Form to this assignment) and a note: '注意：受講生は提出前に、添付されたループリック/フォームおよびその内容を見ることができません。' (Note: Students cannot see the attached rubric/form or its content before submission). Below this is a dropdown menu showing 'ループリック/フォームがありません' (No rubric/form) and a link 'ループリック/フォームマネージャーを起動させる' (Activate Rubric/Form Manager). The 'Turnitin教育ツール内で、あなたの課題に適切なループリックを見つける (英語のみ)' (Find appropriate rubric for your assignment in Turnitin Education Tools (English only)) section is also visible. At the bottom, the text 'ETS® e-rater® 設定' (ETS® e-rater® Settings) is present.

6

最後に画面一番下にある「提出」を選択します。



提出

レポート提出先設定についての注意点

レポート提出先： ?

リポジトリ無し

標準レポートリポジトリ

機関レポートリポジトリ

受講生リポジトリの選択

リポジトリ無し

「標準レポートリポジトリ」

Turnitinのデータベースに保存されます

【メリット】

- ・他者より後から提出されたレポートに自身のレポートと同様の内容があった場合、類似率が示されます。第三者が類似の事実を知ることができるので、盗用されることの防止に繋がります
- ・他者は類似の事実だけを知ることができ、類似した文章をそのものを見ることはできません。

「機関レポートリポジトリ」

所属機関のデータベースに保存されます

【メリット】

- ・機関内で類似した内容が見られた場合類似の事実を知ることができます。このため、機関内の者同士による、盗用および併用の防止に繋がります

【デメリット】

- ・同一の内容が他機関より提出された場合は類似率が出ません

レポート提出先： ?

リポジトリ無し

標準レポートリポジトリ

機関レポートリポジトリ

受講生リポジトリの選択

リポジトリ無し

「受講生リポジトリの選択」

受講生が課題提出時にレポートが「Turnitinデータベース」に保存されるか、「どこにも保存されないか」を選択できます。

【メリット】

- ・ 学生自身に保存先の選択肢を与えることができます。

【デメリット】

- ・ 学生が同一の内容、レポートを使い回しても、それに対する類似率が出ません。(自己剽窃の予防のための使用ができない)

「リポジトリ無し」

レポートはどこにも保存されません。

【デメリット】

- ・ 同一の内容、レポートを使い回しても、それに対する類似率が出ません。(自己剽窃の予防のための使用ができない)